

令和2年度 経営発達支援計画事業評価委員会 評価結果

1. 日 時 令和2年9月2日（木）午後1時より
2. 場 所 白河商工会議所 会議室
3. 議 題
(1) 経営発達支援計画における、令和元年度実績報告並びに
令和2年度に向けた取組みについて

4. 参加者 事業評価委員

白河市商工課 課長 真船 薫 氏
菅野覚中小企業診断士事務所 菅野 覚 氏
白河市金融団 大東銀行 白河支店長 広瀬 泰二郎 氏
白河商工会議所 専務理事 金澤 洋一 氏

事務局

白河商工会議所 事務局長 内藤 亘
中小企業相談所 所長 今井 貴信
係長 小林 正典
副主査 原 智史
主事 芳賀 千尋

白河商工会議所における、5ヶ年計画の経営発達支援計画について説明。
さらに令和1年度の実績を報告、意見交換をする。

評価基準 評価基準は下記の通りとする

評価	達成状況	達成率
A	目標を達成する事が出来た	100%以上
B	目標を概ね達成する事が出来た	80%~99%
C	目標を半分程度しか達成する事が出来なかった	30%~79%
D	目標をほとんど達成する事が出来なかった	30%未満
E	未実施	0%

《評価委員からの総括》

菅野委員

景気動向調査は、200社を対象に行っているが、選定した事業所の属性分けをおこなっているのか。また、行っていないならば、各事業所の属性分けを行い細分化して把握することが必要である。事業所ごとに、どのステージにあるのか、どのような支援が効果的か、短期・中長期の目標・課題を整理しながら対応することが必要である。

事業者を育成（プロデュース）することが重要なことである。また、掘起しをして支援を巡廻させることが地域の活性化につながっていく。

コロナ禍で、オンラインが経営上必要になってきている。オンラインを利用したビジネスモデルに転換していくことが予想され、支援が必要になってくる。

広瀬委員

小規模事業者への支援は、選定・支援基準をもってアプローチしていく必要がある。事業者の支援を続けた場合、人的な問題などによりフォローできなくなる件数は必ずやってくるので、先を見据えた体制・システムなどの構築準備をした方がよい。

支援内容も高度化してきており、専門性が高くなっている。計画策定も事業者が主体的に作成しないと形骸化してしまう。支援者側もどう事業者を巻き込みながら計画策定・実行と進めていくか考えなければならない。

日本政策公庫との情報交換が行われているが、市中金融機関とも情報交換の場を設けてほしい。民間金融機関との連携も視野にいれてるべきである。

真船委員

コロナ禍の中、事業がスムーズに実施できていない状況かと思うが、事業環境は日々悪化している。厳しい環境の中、商工会議所の支援は必要不可欠だと考える。事業所数の大幅な減少も考えれる中にあるので、引き続き、事業者に寄り添った支援をお願いしたい。

コロナ対策の消費喚起の施策は、おおむね成功している。
協力体制を取りながら事業所支援を行っていきたい。

令和元年度は、経営発達支援計画目標に対して下記の事業に取り組んだ
 実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

1. 地域の経済動向に調査に関する事

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
LOBO 調査回数	12	12	12	100%	A
対象件数	20	20	20	100%	
公表回数	12	12	12	100%	
経営課題・販売促進の 課題分析アンケート調査	1	1	1	100%	A

【事業の内容・改善について】

次回の実施の際は、回答率向上させるため、工夫（ノベルティ等のインセンティブ）の実施が必要ではないか。

2. 経営状況の分析に関する事

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
経営状況の分析件数	48	36	71	197.2%	A

【事業の内容・改善について】

経営分析の各指標に対して、各取組状況と達成状況を照合させることが大事である。経営支援ソフトの有効性を各事業所にしっかり説明しないといけない。データを活用する事で得られる効果などが見える化する工夫が必要であり、有効性の理解を得られれば活用企業も増加していくのではないか。

指導員は、経営者と同じ目線で支援することが重要であり、分析データを意志決定に有効活用していく様に支援を行ってほしい。

3. 事業計画策定支援に関する事

成果目標	H30 (当初)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
事業計画策定事業者数	15	15	18	111.1%	A
創業塾 参加者数	25	24	16	66.7%	C
創業計画策定事業者数	8	12	10	83.3%	B

後継者育成塾	1	1	1	100.0%	A
後継者育成塾参加者数	12	12	15	120.0%	A
事業承継セミナー	3	2	1	50.0%	C
事業承継計画策定事業者数	2	4	2	50.0%	C

【事業の内容・改善について】

創業塾の対象は、だれを想定しているか。若者や女性の創業者が増加している。コロナ禍で、都市部からの移住希望者にも創業希望者は多いことから、掘り起こしの工夫が必要ではないか。宣伝広告の実施方法を特に工夫しなければならない。

絶対数（分母）を増やす取組に注力する必要がある。

4. 事業計画策定後の実施支援に関する事

成果目標	H30 (実績)	H30 (目標)	H30 (実績)	達成率	達成状況
事業計画策定後の実施支援社数	15	18	20	111.1%	A
フォロー訪問数	126	72	105	145.8%	A
創業計画策定後の実施支援社数	8	12	10	83.3%	B
フォロー訪問数	32	144	38	26.4%	D
事業承継計画策定後の実施支援者数	2	4	2	50.0%	C
フォロー訪問数	8	8	8	100.0%	A

【事業の内容・改善について】

創業に係る目標値が達成できなかったことから、創業希望者の掘起しの工夫が必要である。しかし、コロナ禍の中を考えると、大きな伸びは期待できない。

他の事例にはなるが、フォローアップ（伴走）を実施した事業所は、売上・粗利とも上昇する傾向があるので、しっかり伴走支援を行って頂きたい。

5. 需要動向調査に関する事

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
試食会により需要動向を調査する事業者数	1	3	0	0%	D
簡易品評会により商品の需要動向を調査する事業者数	0	3	5	167%	A
調査資料情報の提供	0	18	0	0%	D

【事業の内容・改善について】

地域資源を生かした事業の展開は乏しい。デザインパッケージやレシピ等の仕組みづくりとタイミングが大事。機運醸成の必要度が高い。

展示会の開催案内は、当初 HP を活用して周知を行ったが、リアクションはいまいちだったことから、応募しやすい環境の整備など対応が必要である。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
マスメディアへの広報 取材件数	2 2	4 2	2 2	50% 100%	C A
伊達な商談会への紹介事業者数 バイヤーとの成約件数	0 0	3 1	0 0	0% 0%	D D
各金融機関と連携した展示・商 談会出展事業所数 バイヤーとの成約件数	0 0	3 2	0 0	0% 0%	D D
事業者交流大会での展示事業者数 新たな取引先の獲得事業者数	4 0	8 3	0 0	57% 0%	E E
ミニホームページ作成事業者数 ミニHP から売上が上がった事業者数	4 0	20 5	21 6	105% 120%	A A
独自 EC サイトの掲載事業者数 売上が上がった事業者数	0 0	4 2	0 0	0% 0%	E E
販路斡旋・紹介 商品が取り扱われた事業者数	0 0	4 2	1 1	25% 50%	E E

【事業の内容・改善について】

事業所には積極的な声掛け、また金融機関等との連携強化が有効。

II 地域経済の活性化に資する取組

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
白河提灯まつり	1 12	- -	- -		E E
白河だるま市	1 15.5	1 15.7	1 14	100% 89.2%	A B
白河まちなか逸品	27	33	24	72.7%	C

	77	66	52	78.8%	C
	38	45	37	82.2%	B
しらかわんコイン DE シールラリー	261	460	396	86.1%	B
	520	920	792	86.1%	B

【事業の内容・改善について】

まちなか逸品は、新規顧客を獲得するのにターゲットの明確化・広告戦略の立案などをまとめた概要書の作成が必要なのではないか。街なか活性化の取組についても工夫が必要。集客するイベントなどが開催しづらいことが想定されるので、状況に合わせた開催内容を検討していきたい。

Ⅲ－１ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
産業支援情報交換会	1	1	3	300%	A
地域振興等に関する情報交換会	1	1	1	100%	A
支援機関との情報交換会	1	1	3	300%	A
日本政策金融公庫との情報交換会	1	1	2	200%	A

【事業の内容・改善について】

単なる情報交換ではなく、事例等の交換を行いより具体的な内容の意見交換をすることが望ましい。

Ⅲ－２ 経営指導員等の資質向上等に関する事

成果目標	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績)	達成率	達成状況
伴走型支援会議の開催	12	12	12	100%	A
OJTによる支援能力の向上	1	1	2	100%	A
商工会議所連合会主催の研修会への参加	3	3	3	100%	A
日本商工会議所主催の研修会への参加	2	1	0	0%	D
専門家派遣の活用	27	34	35	103%	A

【事業の内容・改善について】

引き続き、各団体の研修会に参加し、スキルアップに努めてほしい。